

# inochi Gakusei Innovators' Program 2022 SHIKOKU

## 「腰痛」

### 5/31-7/3

応募  
期間

6/27までに応募すると早期応募となり、その時点で一次審査通過、二次審査の面接に進めます。二次審査を通過するとプログラム参加となります。

オンライン説明会 30分の予定

21時～

6/8, 10, 11, 14, 16, 18, 22, 24, 25, 28, 7/1

10時～

6/12, 19, 26

説明会の参加はこちらから ▶



応募  
方法

以下のQRコードから応募フォームへ記入してください。

チーム(2-4人)でのみ応募が可能です。

応募フォームは  
こちらから! ▶



主催  
後援



一般社団法人inochi未来プロジェクト



inochi WAKAZO Project



徳島大学

## 若者の力でいのちを守る社会を創る。

2-4人から成る中高・高専生のチームが大学生と共にヘルスケア課題解決プランを創出・実行し競い合うプログラムです。2015年から関西で毎年開催されており、これまで国内・海外あわせて700名以上の修了生を輩出してきました。約半年間に及ぶ各業界のトップランナーによる教育プログラムと、大阪大学・京都大学などの医学生を中心としたメンタリングを経て、真にinnovativeなヘルスケア課題解決プランの創出を目指します。

## プログラム

### 応募締め切り -5/31

### 面接

エントリーフォーム記入内容をもとに運営大学生と面接を実施。

### 参加チーム決定・結果 6/12

面接を含めた結果の総合的な判断により、今年度プログラムに参加する10チームが決定。

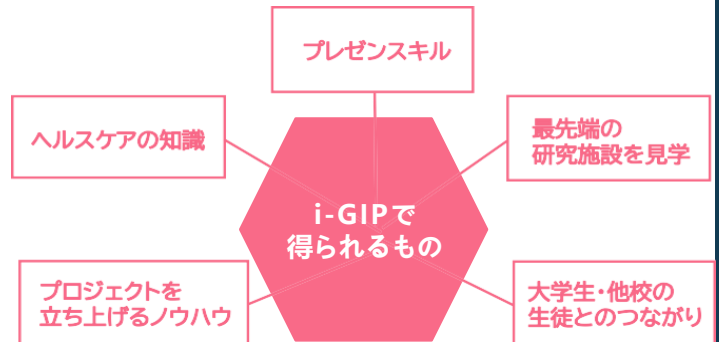
### 教育プログラム 6/13-10月末

最先端施設の見学や著名な講師によるレクチャー、現役大学生メンターとの対話を重ねてヘルスケア課題を解決するプランを創出。

### 最終選考会 11/3

様々な分野の第一線で活躍されている方々からなる審査員の前でプロジェクトを発表、優秀チームを決定。

▼各種SNSはこちらから気軽に質問して下さいと嬉しいです



## 代表挨拶



腰痛は将来、皆さんに起こり得る身近な問題です。

腰痛の最大の問題は腰痛そのものが軽視され、対策が早期に着手されないことで、長期化し、精神的、肉体的に生涯に渡って疲弊することです。生活において腰痛が発生することは多いですが、しっかりと治療、対応がされているかと言うと稀です。私は課題が決まってから多くの方と話す機会がありました。そして、4分の1どころでなく、ほぼすべての大人が腰痛の経験があったり、若い人、学生でも悩んでいる人が多いとことを知りました。今は元気かもしれない。でも将来いつでも発症しうる。腰痛を考えることは、他の人のこと、自分の将来、健康を考えるきっかけでもあります。これからの社会を作っていく、私たち若者が一丸となって腰痛対策にイノベーションを起こしませんか？

大人だけでは今まで解決しきれなかった医療・教育・福祉が絡むこの難題に、私たち若者が本気で取り組みます。

### 過去の実績

2016年度

マイプロジェクトアワード  
文部科学大臣賞

2017年度

京都大学総長賞

inochi Gakusei Innovators' Program 2022 SHIKOKU 代表  
徳島大学医学部医学科4年 五嵐 大暉

## 主催

### 一般社団法人inochi未来プロジェクト

みんなでinochiの大切さと未来について考え、行動するプロジェクト。医療者・企業・行政そして市民と患者も。関西・日本が、みんなでささえあいながら、健康で長生きできる街・国になることをめざします。大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科教授 澤芳樹を理事長として、他9人の理事によって構成されています。

### inochi/WAKAZO Project

「若者の力でいのちを守る社会を創る」をミッションとする、東大・京大・慶大・阪大の医学生を中心とした次世代イノベーター集団。当事者の課題を徹底的に追求した真にinnovativeな課題解決プランの創出、次世代の日本・世界のヘルスケアを切り開く人材の育成。この2つを通して、市民と医療者の境界を越えて「ヘルスケア」が広がる未来社会を若者から実現します。



inochi

